

2019年1月

ヘルスケア・インサイト: イノベーションとインパクト

1月のヘルスケア株は前月の下落から大きく反発しました。

景気敏感セクターがアウトパフォーマンスしたため、ヘルスケア株は、1月においてS&P500指数をアンダーパフォーマンスしました。

大型製薬株は、いくつかの企業が慎重な業績見通しを発表したことから、アンダーパフォーマンスしました。

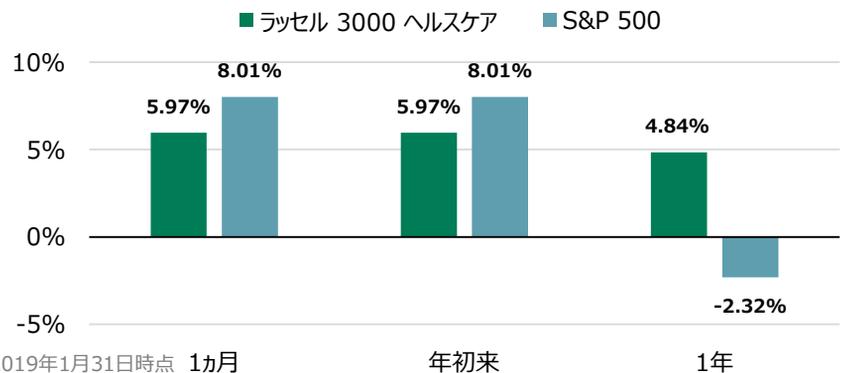
市場インサイト

1月のヘルスケア株は前月の下落から大きく反発したものの、S&P500指数をアンダーパフォーマンスしました。2018年の終わりに市場の下落の原因となった、金利上昇や経済成長の鈍化、米中貿易戦争の可能性などの懸念が和らいだことが、1月の反発の背景となりました。FRBは今後の利上げのペースは緩やかになることを示唆し、経済成長は引き続き健全で、米国と中国の対立的な姿勢が和らいでいるように見えます。競争や、導入が予想される規制、イノベーションが、ヘルスケア・セクター全体に変化をもたらしており、引き続きM&A活動が活発であることも、ヘルスケア株を支える材料となりました。

ヘルスケア株はS&P500と同じように推移し、一時的にボラティリティが高まったものの、1月を通じて全般に上昇しました。景気敏感セクターである産業やエネルギーを中心にS&P500が上昇した一方、ヘルスケア株は、2018年第4四半期の下落相場を乗り切りましたが、S&P500指数を下回りました。1月は、ヘルスケア・テクノロジーを中心に、全てのヘルスケア・サブセクターにおいて絶対リターンがプラスになりました。大型製薬株は、いくつかの企業が慎重な業績見通しを発表したことから、ラッセル3000ヘルスケア指数をアンダーパフォーマンスしました。

パフォーマンス・スナップショット

月次トータルリターン



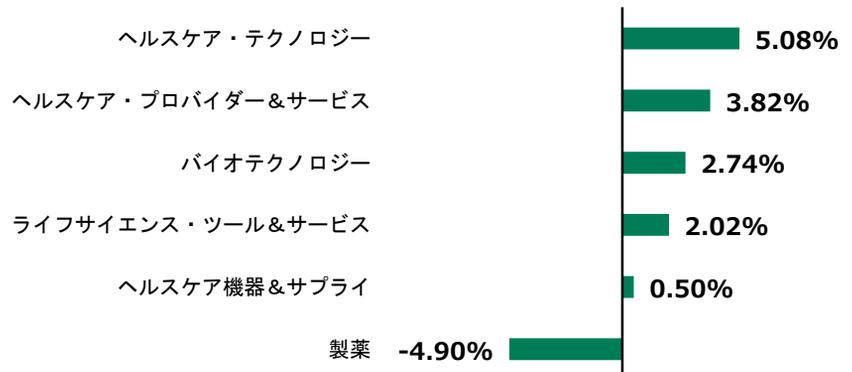
2019年1月31日時点 1か月

年初来

1年

出所: FactSet

業種別超過リターン、対ラッセル3000ヘルスケア指数



2019年1月1日から2019年1月31日

出所: FactSet.

国連の 持続可能な 発展目標 (SDG)



「健全な生活を確保し、あらゆる世代層の健康を促進する」

インパクト・テーマ



革新的な治療法



医薬品とサービスへのアクセス



医療費削減の新しいソリューション



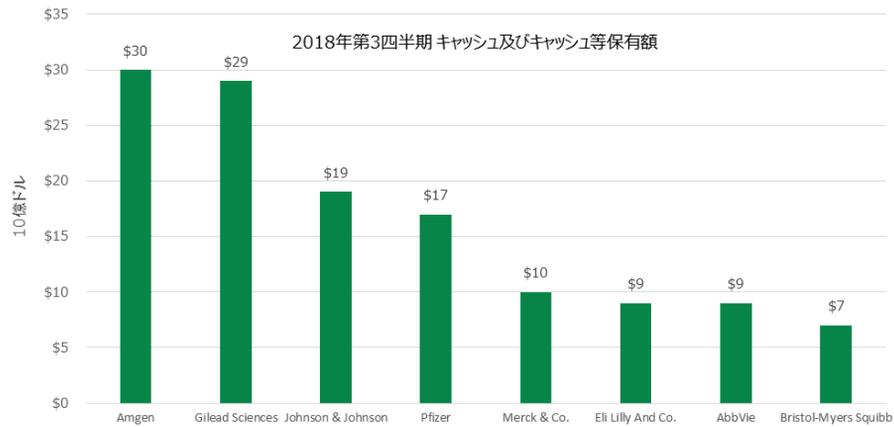
機器、サービス、ソフトウェアの生産性向上

統合がイノベーションと株主価値の増加を促進

最近の数か月間に、有名な企業の合併が相次ぎました。総合薬局のCVSは2018年11月にAetnaとの合併契約を締結しました。そして2019年1月には、製薬大手のBristol-Myers Squibbとバイオテクノロジー企業のCelgeneが合併を発表し、Eli Lillyは一連の癌治療薬を開発するLoxo Oncologyの買収計画を発表しました。

こういった活動は、ヘルスケア・セクター全体でみられる長期的な統合の傾向を表しています。サイズと規模が大きければ、競争上優位であり、買収は、将来の成長を推進する新薬やデバイスを発見し獲得する、効率的な手段になりえます。これ以外にも考慮すべき要因があります。過去数か月の下落の後、株価はより魅力的な水準にあり、また、企業のバランスシートには買収資金のための潤沢なキャッシュがあります。下の図はバイオ医薬品セクターの大手企業のキャッシュ保有額を表したもので、これらの資金が今後の買収を促進すると私どもは考えています。

大手バイオフーマ企業の潤沢なキャッシュ保有額が業界の統合を推進



出所: FactSet

Celgeneの合併はこれらの要因が全てうまくいっている良い例です。Celgeneは強力な新薬開発パイプラインを持ち、事業のトレンドが改善しています。更に、同社のファンダメンタルズを勘案すると、非常に魅力あるバリュエーションで取引されている、と考えられます。

こういった合併が一般社会にもたらす利益も明らかです。Bristol-Myers/Celgeneの合併により、癌や炎症性疾患、免疫疾患、および心血管疾患の患者のニーズに対応できる優れたバイオ医薬品専門会社が生まれると、私どもは考えています。

最後に、統合は、投資家にとってヘルスケア・セクターが引き続き非常に魅力的な市場分野であるとの、私どもの長期的な見解を浮き彫りにしています。企業買収は、バリュエーションが適切であることの証であり、投資家にとっては、堅実なファンダメンタルズを持つ革新的な企業への投資リターンを実現する方法であるとと考えています。

注目銘柄：CVSヘルス・コーポレーション

CVSヘルス・コーポレーションは、薬局の健康保険管理、9500以上の拠点における個人向け薬局、個人向けクリニック、及びオンライン個人向け薬局業務などの薬局サービスを全米で提供する、総合薬局ヘルスケア企業です。2018年11月、同社は、およそ3800万人の人々に医療サービスと保険商品を提供する大手健康保険会社のAetnaを買収しました。この合併により、顧客の医療費を削減する可能性と、長期的な成長維持のための新たな機会をもつ総合的な医療ソリューション企業が誕生したと言えるでしょう。

CVSは、私どもの目標としている社会的インパクト・テーマ（左端参照）のうち、「機器、サービス、ソフトウェアの生産性向上」、「医薬品とサービスへのアクセス」、「医療費削減の新しいソリューション」の3点を達成するのにふさわしい企業です。

著者



Michael Li, Ph.D.

ポートフォリオ・マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのVP及びポートフォリオ・マネジャー。2002年に同社入社。それ以前は科学者及びプロジェクト・マネジャーとしてPharmaceutical Research Institute of Bristol-Myers Squibb Co. に勤務し、FDAに研究用新薬の申請を行うなど、医薬品発見から開発まで、研究者をサポートする多機能チームの管理に従事した。中国科学技術大学で材料科学及びエンジニアリングの学士号取得、ペンシルベニア大学ウォートンスクールで経営学修士号、ミシガン大学で化学Ph.D.を取得。



Henry He, CFA

ポートフォリオ・マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ・マネジャー。前職はBNP Paribas Investment Partnersのシニア・エクイティ・リサーチ・アナリスト、及びポートフォリオ・マネジャーとしてヘルスケア及びバイオテクノロジーセクターの運用を担当。ハーバード大学で経済学学士号取得。CFA®チャーターホルダー。



Kevin Lewis, CFA, CAIA

シニア・クライアント・
ポートフォリオ・マネジャー

投資家と共に歩み、グローバルグロース株式市場に関するインサイトと展望を提供する。また、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ運用チームを代表して同社のグロース株投資哲学、投資プロセス、及びパフォーマンスを提供する。CFA®チャーターホルダー及びCAIA®チャーターホルダー。

過去のパフォーマンスは将来の投資成果を保証するものではありません。

ここに表明される意見は、アメリカン・センチュリー・インベストメンツの意見であり、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオの将来のパフォーマンスを保証するものではありません。この情報は参考情報の提供のみを目的としており、投資アドバイスを目的としたものではありません。特定の有価証券への言及は、説明目的のためのみであり、有価証券の購入または売却の推奨を意図したものではありません。提示された意見及び予想は当社の判断とその他のポートフォリオ・データを含んでおり、予告なしに変更されることがあります。

この情報は、個人的な推奨あるいは信任アドバイスを意図したのではなく、投資や会計、法律、税務アドバイスの判断に用いられるべきではありません。

日本の投資家向け：この資料は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されているいかなる有価証券やアドバイス、サービス、投資戦略、プロダクトの売買の勧誘を目的としたものではありません。この資料は米国外のリテール投資家を対象としています。この文書の内容は規制当局によって審査されていません。American Century Investment Management, Inc. は日本で登録されていません。

American Century Investment Management (Asia Pacific), Limitedは証券先物委員会（「SFC」）のタイプ1およびタイプ4の登録を保持しています。American Century Investment Management, Inc.はSFCに登録されていません。

American Century Investments®

4500 Main Street
Kansas City, MO 64111
1-866-628-8826

330 Madison Avenue
New York, NY 10017
1-866-628-8826

1665 Charleston Road
Mountain View, CA 94043
1-866-628-8826

2121 Rosecrans Avenue
El Segundo, CA 90245
1-866-628-8826

3 Garden Road, Central
Hong Kong
+852 3405 2600

12 Henrietta Street
London, WC2E 8LH
+44 20 7024 7080

167 Macquarie Street
Sydney, NSW 2000
+61 2 8667 3025

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。

したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

2019年2月現在

ご購入時手数料 《上限4.32%(税込み)》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816%(税込み)》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会